

令和元年 5 月 30 日

大型公共施設建設調査特別委員会

市民部スポーツ振興課
都市整備部公園課

大型スポーツ施設に関する調査研究について

1 篠原地区に計画する新野球場について

(1)概要

- ・ 県民のスポーツ・レクリエーション需要等に対応するため、県は、遠州灘海浜公園基本構想の策定を平成 27 年 5 月に着手し、県民に意見募集及び「静岡県都市公園懇話会」の審議内容を反映した上で、平成 28 年 5 月 30 日に公表した。
- ・ 基本構想では、篠原地区を「防災・スポーツエリア」と位置づけ、野球場等を導入が望ましい公園施設とした。
- ・ 本市議会は、平成 28 年度に大型スポーツ施設調査特別委員会を設立し、県に整備を要望している新野球場について、審議を行った（H28 から H30 にかけて、全 18 回の委員会を開催）。

(2)主な審議結果

- ・ 第 10 回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成 29 年 2 月 8 日）
遠州灘海浜公園篠原地区の交通アクセス、地形地質、環境（アカウミガメ、騒音）、気象（風、飛砂）、気象（塩害）、津波被害（浸水）の調査実施について了承された。
- ・ 第 16 回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成 29 年 12 月 1 日）
遠州灘海浜公園篠原地区の調査結果を審議し、「対策を施せば篠原地区に野球場建設は可能」という市の調査結果が了承された。
- ・ 第 17 回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成 30 年 1 月 18 日）
静岡県へ「野球場を含む公園基本計画の策定を要望する」との結論が了承された。
- ・ 第 18 回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成 30 年 8 月 16 日）
浜松市議会議長から「遠州灘海浜公園（篠原地区）への野球場の整備に関する要望書」を静岡県知事に提出することを決定した。

(3)状況

- ・ 平成 30 年 8 月 28 日、浜松市議会議長から「遠州灘海浜公園（篠原地区）への野球場の整備に関する要望書」を静岡県知事に提出した。
- ・ 平成 30 年 12 月県議会において、遠州灘海浜公園（篠原地区）公園基本計画策定の予算が可決され、平成 31 年 3 月から基本計画の策定に着手している。

(4)課題・懸案事項

- ・ 県は基本構想において、遠州灘海浜公園には観客収容人数 22,000 人程度の野球場の導入が望ましいとした。しかし、新野球場の規模・形態等は、利用方法に応じて収容人数や面数等に複数のタイプが考えられることから、県は、県民の意見を幅広く伺い、基本計画を策定していく予定である。
- ・ 市は、これらの情報を県より逐次得て、進捗状況を把握すると共に、県の基本計画策定に対し、できる限り協力していく。

2 四ツ池公園スポーツ施設について

(1) 概要

- ・ 大型スポーツ施設の中でも特に、四ツ池公園内にある野球場、陸上競技場は課題を抱える施設。浜松球場は、大規模改修から40年が経過し、施設内にクラックや雨漏り箇所が散見され、照明塔の不具合などの老朽化が見受けられる。陸上競技場についても同様の状況となるが、雨降りの場合、観戦用スタンドや選手待機場所が確保できないといった課題もあり、両施設共に以前開催されていた大会が他の施設に流出する傾向にある。また、両施設で約230台の駐車場しか確保されていないことから、自家用車での来場が難しい状態となっている。
- ・ これらの課題解決のためには、施設整備が必要である。両施設を現在地で建て替えた場合、施設規模が拡大する可能性があるため、現敷地内での両立は困難。解体から建設まで、長期閉鎖しなければならず、代替施設がないことから利用者への影響が大きいと考える。このため、篠原地区への野球場移転と四ツ池陸上競技場の再整備が有効な方法として示した。
- ・ 浜松市では、昭和62年から「遠州灘海浜公園」の整備要望を継続的に行ってきた。平成23年度からは、県西部域の施設として県営野球場の整備を県に要望。こうした背景には、浜松球場については、平成7年に野球規則の改正に伴い移転を含めた整備検討を行い、当時の候補地の中でも篠原地区が最適地と判断した経緯があり、平成28年度にも改めて篠原地区が適地と判断した。

(2) 検討の経緯

- ・ 平成28年9月20日開催の第4回大型スポーツ施設調査特別委員会を皮切りに、平成30年1月18日開催の第17回大型スポーツ施設調査特別委員会まで通算11回の委員会において検討。
- ・ 第11回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成29年6月30日）
「四ツ池公園運動施設現況調査報告書」提出
【内容】「陸上競技場のあり方」「野球場のあり方」「陸上競技場と野球場の整備に向けた前提条件」を述べたうえで、今後の進め方として整備フロー図を示した。
- ・ 第15回大型スポーツ施設調査特別委員会（平成29年11月6日）
「浜松市スポーツ施設整備基本コンセプト(案)」提出
【内容】「野球場を他の場所へ移転し、陸上競技場を現在地において再整備することが最も合理的である。」「県営野球場整備に伴い、浜松球場を廃止し球場解体後に、現陸上競技場をサブグラウンドとして利活用した陸上競技場として再整備する。」などの考え方を示した。なお、コンセプト案前段のスポーツ施設整備の基本方針などについては内容を精査し、平成31年3月策定の第2期浜松市スポーツ推進計画に位置付けた。

(3) 今後の論点

- ・ 四ツ池公園運動施設の基本構想策定に向けた取り組み
 - 四ツ池公園陸上競技場・浜松球場の整備方針について